

愛媛のおやじ井戸端会議 設立総会

おやじの会は、父親の子育て参加や地域社会への貢献を目指して、地域のおやじたちが組織する自主的・自発的な団体で、現在、県内で120団体のおやじの会が活躍中です。

平成18年には、積極的に活動しているおやじの会の会員が世話人会を立ち上げ、平成19年3月に「語り合おう！おやじの熱い思いを！」をテーマに、第1回愛媛のおやじ井戸端会議を開催しました。その後、第3回から「井戸端屋台」、第4回から「サバイバル自炊」をプログラムに取り入れ、井戸端会議は進化を続けました。

平成25年6月に7回目の会議を「世話人会」主催で開催し、約100人の参加者と交流し研修を深める中で、以前から声が上がっていたおやじの会等関係団体の愛媛県連合組織の設立についての機が熟したと感じた世話人たちが、設立準備会を立ち上げ、協議を開始しました。そして、今回の「第2回四国おやじサミットinえひめ」の開会行事の前に、設立総会を開催し、正式に愛媛県連合組織「愛媛のおやじ井戸端会議」が発足しました。

設立総会 議題

進行 菊池 好彦

① 議長選出



議長 今井 博志 副会長



経緯説明 清水 博之 理事

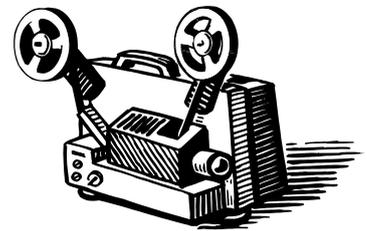
② これまでの経緯

③ 設立宣言

④ 会則の承認



設立宣言 佐川 良 会長



⑤ 役員承認

⑥ 活動計画の承認



設立総会の様子



各おやじの会の幟も立ちました

愛媛のおやじ井戸端会議設立宣言

子どもは家庭の宝であり、明日の日本を担う社会の宝でもあります。

子どもを育てることは何ものにもかえがたい喜びと楽しみがあり、子育てを通して親も成長していきます。

一方、地域では、常に子どもたちを温かく見守りながら、時には厳しく注意をする大人の姿があり、地域社会の中で子どもを育てようとする地道な活動を続けている大人が少なからずいます。

しかし、物質の豊かさや溢れる情報の中で、子どもをどう育てていいかわからない、子育てに自信がないなど、切実な子育てへの不安や悩みを抱えている親も多くいます。

また、子育てを母親任せにしてしまい、父親の威厳を失いかけて、寂しい思いをしているおやじもいます。

今、人間関係の希薄化が進む中で、家庭でも地域でも父親の積極的な子育て参加が強く求められています。

父親への期待は日々高まっており、活躍の場は近所へ、学校へ、そして、地域へと大きく広がっています。

「おやじの会」に集う私たちは、子どもに注ぐまなざしを「わが子の父親」から「地域のおやじ」へと広げていきます。

お母さんからはやさしさや女性らしさを学ぶように、私たちおやじは多くの子どもたちに信頼されるたくましさ、時にはこわがられる存在感のある地域の「おやじ」として持てるパワーをいかに発揮していこうと、固執してきました。

そして、愛媛県内で子どもたちのために力を注いでいこうとするおやじたちが集い、互いに研鑽を深めることで、より良い地域社会づくりに寄与し、加えて、集ったおやじ自身が己の人生と家族の人生を豊かにする主人公になることを誓い、

ここに、「愛媛のおやじ井戸端会議」の設立を宣言します。

平成25年11月23日

愛媛のおやじ井戸端会議会長 佐川 良

